

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年8月19日 (2010.8.19)

【公開番号】特開2008-309205(P2008-309205A)
 【公開日】平成20年12月25日 (2008.12.25)
 【年通号数】公開・登録公報2008-051
 【出願番号】特願2007-155929(P2007-155929)
 【国際特許分類】

F 1 6 D 3/41 (2006.01)

【F I】

F 1 6 D 3/41 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年7月6日 (2010.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

胴部の外周に 4 本の軸部が十字状に配置されており、この 4 本の軸部の軸心を含む仮想面に対し垂直な方向に深さを有する凹部が前記胴部に形成されてなる十字軸部材であって、

前記凹部内に、前記仮想面において前記軸部の軸心に対して略 45° の角度をなす方向に沿った畝状肉盛部が 4 等配されており、

各軸部の中心には、軸心に沿った給脂孔が形成されており、

前記凹部の中央に設けられた筒体には、前記各軸部の給脂孔に連通する給脂穴が設けられており、且つ、

前記凹部の深さは、当該凹部と前記各軸部の給脂孔が連通しない深さとされていることを特徴とする十字軸部材。

【請求項 2】

前記畝状肉盛部の高さが、凹部を囲む胴部の淵部のうち当該畝状肉盛部に繋がる淵部の高さと同じにされており、前記凹部を全て埋めたものと同等の静強度が確保されている請求項 1 に記載の十字軸部材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の十字軸部材は、胴部の外周に 4 本の軸部が十字状に配置されており、この 4 本の軸部の軸心を含む仮想面に対し垂直な方向に深さを有する凹部が前記胴部に形成されてなる十字軸部材であって、

前記凹部内に、前記仮想面において前記軸部の軸心に対して略 45° の角度をなす方向に沿った畝状肉盛部が 4 等配されており、

各軸部の中心には、軸心に沿った給脂孔が形成されており、

前記凹部の中央に設けられた筒体には、前記各軸部の給脂孔に連通する給脂穴が設けられており、且つ、

前記凹部の深さは、当該凹部と前記各軸部の給脂孔が連通しない深さとされていること
を特徴としている。